

第2学年 社会科シラバス

1 教科の目標

広い視野に立って、地理的・歴史事象に関する感心を高め、諸資料に基づいて多面的、多角的に考察する力を養う。また、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して、我が国の文化や伝統の特色を考えさせる。

2 評価の観点と内容

社会的事象への関心・意欲・態度	社会の出来事に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする
社会的な思考・判断	社会的な事象から課題を見つけ、その因果関係を捉え、広い視野から公正に判断できる。
資料活用の技能・表現	各種資料に親しみ、効果的に活用するとともに、考察した結果をまとめることができる。
社会的事象についての知識・理解	地理的、歴史的事象について理解し、その知識を身につけている。

3 年間計画

時期	単元名	主な学習内容	学習の目標	評価方法
前期	4 古代国家の歩みと東アジア世界	律令国家の成立 奈良時代の人々 国際的な文化の開花 平安京と摂関政治 文化の国風化	・大陸の制度や文物を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解する。 ・奈良時代の文化が唐の影響を強く受けた、国際色豊かなものであったことを知る。 ・平安時代になると天皇よりも貴族が政治の実権を握ったこと、遣唐使の廃止によって文化の国風化が進んだことを理解する。	・観察 ・プリント ・ノート ・定期テスト ・小テスト ・課題
	5 武士の台頭と鎌倉幕府	武士の成長 武士政権の成立 武士と民衆の動き 鎌倉時代の宗教と文化	・武家政権が成立し、その後武士の支配が広まっていったことを理解する。 ・農業技術や手工業・商業の発達による生活の向上がもたらした社会の変化について考える。 ・鎌倉時代の新しい仏教の特色を理解し、それが広まった理由を考える。鎌倉文化の特色を理解する。	
	6 東アジア世界とのかかわりと社会の変動 さまざまな面から見た日本	モンゴルの襲来と日本 南北朝の動乱と東アジアの変動 室町幕府と経済の発展 民衆の成長と戦国大名 室町文化とその広がり 世界と日本の自然環境 世界と日本の生活と文化 世界と日本の人口	・二度にわたるモンゴルの襲来と日本の対応を理解する。 ・産業が発達し、村に自治のしくみができていったことを理解するとともに、武士や民衆の活力を背景にした新しい文化が生まれたことを知る。 ・戦国時代の戦いと、織田・豊臣による統一までの大きな社会の変化を理解するとともに、時代を反映した文化の特色を考える。 ・世界的視野から日本の地形、気候、土地利用、自然災害の特色を明らかにし、理解する。 ・我が国の文化や人々の生活様式、人口に関わる問題、資源と産業、交通の様子を取り上げ、世界的視野から考察し、その大まかな特色をつかむ。	
	7 さまざまな視点から見た日本	世界と日本の資源と産業 広がる地域間の結びつき 関連づけてみた日本	・これまで学習してきた成果をふまえ、世界的視野から見た日本の地域的特色と日本全体から見た各地域の特色を表現できるようにする。	
	9 ヨーロッパ人との出会いと全国	ヨーロッパ人の世界新出 ヨーロッパ人との出会い 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 兵農分離と朝鮮侵略 桃山文化	・ヨーロッパ人の来航の背景を、新航路の開拓を中心に理解し、鉄砲、キリスト教の伝来が日本に与えた影響を考える。 ・織田信長と豊臣秀吉による統一事業を経済政策、宗教政策などと関連させながら理解する。 ・朝鮮侵略のあらましと、その後の日本への影響を理解する。	
	10 江戸幕府の成立と鎖国 産業の発達と幕府政治の動き	江戸幕府の成立と支配のしくみ 貿易の振興から鎖国へ 農業や諸産業の発達 幕府政治の改革 新しい学問と文化	・江戸幕府の成立と政治制度のあらましと、幕府による大名や朝廷の統制政策を理解する。 ・江戸幕府による貿易の独占とキリスト教の禁止が、人々の生活に大きな影響を与えたことに気づき、産業・交通の発達や町人文化の形成について理解する。 ・社会の変動や欧米諸国の接近による幕府政治の変化を理解し、同時に生まれた新しい学問や思想についても知る。	
後期	11 欧米の進出と日本の開国 明治維新	近代革命とヨーロッパ諸国のアジア進出 江戸幕府の滅亡 新政府の成立 近代的な国際関係 民権運動と立憲国家の成立	・日本に影響を与えた欧米諸国が、近代革命を通して近代国家を形成した過程を理解する。 ・欧米諸国のアジアへの進出を背景にして、日本が開国したことを知り、その影響について考える。 ・明治維新の経緯とその後の近代化の様子、大陸との関係を理解し、人々の生活の大きな変化に気づく。	・観察 ・プリント ・ノート ・定期テスト ・小テスト ・課題
	12 日清・日露戦争と近代産業	欧米列強の侵略と条約改正 日清・日露戦争 産業革命の進展 近代文化の形成	・急速に近代化を進めた日本の国際的な地位と大陸との関係のあらましを理解する。 ・わが国の近代産業が産業革命を経て発展したことを理解し、その中で起こった国民生活の変化に気づき、近代文化が生まれ、文化の大衆化が進んだことを知る。	
	1 第一次世界大戦とアジア・日本 世界恐慌と日本の中国侵略	第一次世界大戦 国際協調の高まり 大正デモクラシーと広がる社会運動 世界恐慌と欧米の情勢 日本の中国侵略	・第一次世界大戦から第二次世界大戦の終わりまでのわが国の政治・外交の動きを、アジアや欧米などの国際情勢を背景に理解する。 ・大戦が人類全体にはかりしれない惨禍をもたらしたことを知る。	
	2 第二次世界大戦とアジア	第二次世界大戦 アジア・太平洋での戦い 戦争の終結	・第二次世界大戦の原因や様相について理解し、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら考える。 ・第二次世界大戦後国際社会に復帰するまでの、わが国の再建と民主化の過程を、世界の動きと関連づけて理解する。	
	3 日本の民主化と国際社会への復帰 国際社会と日本	占領と日本の民主化 二つの世界とアジア 高度経済成長のなかの日本 現代の日本と世界	・高度経済成長以降のわが国の動きを、世界情勢と結びつけてとらえる。また経済や科学技術の急速な発達によって、国民生活が向上したことや、わが国の国際的な役割が大きくなったことを知る。	